

ゼロ円弁当で千金笑顔

水沢高2年遠藤結音さん、佐藤瑚恋さん、高橋彩愛さん

水沢高2年の遠藤結音さん、佐藤瑚恋さん、高橋彩愛さんは地域の「居場所づくり」の活動として奥州牛入りの「ゼロ円弁当」を企画し17日、奥州市水沢のステーキハウスパイオニア牧場（菊地憲野オーナー）で無料配布した。子ども食堂の運営や食品ロス削減に関心を持ち、同店やNPO法

奥州

人奥州わらすば（大内玲子理事長）、農家の協力を得て実現。真心が詰まった弁当に、地元住民らの笑顔があふれた。

奥州牛のすき焼き風煮込みやニンジンの和風しりしりなど、栄養バランスも申し分ない50食を用意。配布時間の30分以上前から希望者が集まった。配布した遠藤さんは「思った以上に

「居場所づくり」志し配布 ステーキ店やNPO、農家協力

たくさんの方が来てくれて、佐藤さんは「年代問わずうれしかった」と感激し、いろいろな人が来てくれた



弁当を配布する遠藤結音さん（左）と佐藤瑚恋さん（中央）

と笑みを広げた。3人は探究授業の一環で活動。同法人が運営する子ども食堂のボランティア参加などから「ゼロ円弁当」を着想し、関係者に協力を呼びかけた。産直来夢くんの生産者からは米や野菜の提供も受けた。

大内理事長（65）は「未来を担う高校生たちに子ども食堂に関心を持ってもらえたことがうれしい。いろいろな活動や経験の一つとしてこれからの進路に生かしてほしい」と期待した。

会場には同法人の「家族食堂」のハンバーグ入り弁当（幼児無料、小学生50円、中高生100円、大人300円、シルバー200円）も100食用意され、売れました。3人のゼロ円弁当は今回限りの企画で、家族食堂は次回来年1月28日午前11時半から。問い合わせは大内理事長（090・6456・7125）へ。

（鈴木広野）